

令和2年度 第1号



■ 目次 ■

- 巻頭言 着任のご挨拶……………(1)
- 主任官挨拶……………(2)
- 更生保護サポートセンター(きたたま東)コラム「窓」……………(2)
- 多摩連保護司研修会……………(3)
- 地域別定例研修……………(3)
- 四市の市章……………(4)
- 退任・新任保護司紹介……………(4)
- お知らせ……………(4)
- 編集後記……………(4)



武蔵野八景碑 (武蔵野市)

杵築大社境内にある武蔵野八景碑は、甲武鉄道開通、境停車場開設10周年を記念して、明治32年(1899)に建てられた高さ約2m50cmの石碑です。八景碑というように、富士山や玉川上水沿いの桜、武蔵野の月や雪、甲武鉄道境停車場など、境から見えるすばらしい8つの風景を選び、それを読んだ漢詩が刻まれています。この碑は境の多くの人々の賛同により建立されました。自分たちの住む地域に愛着と誇りをもっていたことがうかがえます。

4月1日付けで東京保護観察所立川支部長に転任してまいりました。平成24年度に続き、3度目の立川支部勤務となります。今回は、更生保護施設を中心に担当しており、保護司の方々とお目にかかる機会が少なかったのですが、今回、各地区保護司会の総会でお目にかかれると思っております。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために総会が書面による議決となってしまう、このような形でご挨拶申し上げます。精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、昨今の今頃には全く思いもよらなかった生活を送る中、保護観察所として適切に業務を継続していかねばならない中で、これまで通りとはいかないことも多く、業務の中で大切なこと、重要なことは何かということ、改めて考えさせられました。その中で、保護観察にしても保護司会活動にしても、相手とじかに顔を合わせてこそその更生保護であること、人と人とのつながりが大切であることを痛感しました。

日常生活においても、更生保護活動においても、まだまだ戸惑いが多いことと思います。今後、更生保護においても、「新しい日常」ならぬ「新しい更生保護」を模索していく必要があるのかもしれない。皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、引き続きのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



着任のご挨拶  
東京保護観察所立川支部長  
藤井 淑子

(1)

主任官挨拶



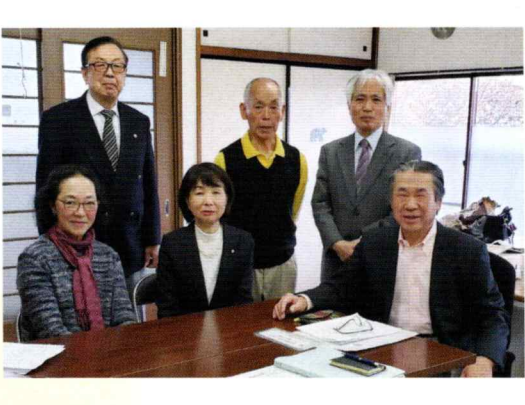
東京保護観察所立川支部  
保護観察官  
六瀬 貴大

この4月に法務省保護局より転任し、北多摩東地区の担当となりました。保護司の皆様はじめ関係機関の皆様方には、日ごろから更生保護活動に深いご理解とご尽力をいただき、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

保護司の皆様には、保護観察対象者との面接や保護司会活動など、大変なご心労をおかけしていることと存じます。また、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大によって変則的な対応が求められる中でも精力的な活動を継続していただいております。主任官として感謝の念に堪えません。

日々の活動が、対象者の立ち直り、そして明るい社会の実現に必ずつながるものと信じ、引き続き皆様のお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

更生保護サポートセンター「きたたま東」3月27日オープン



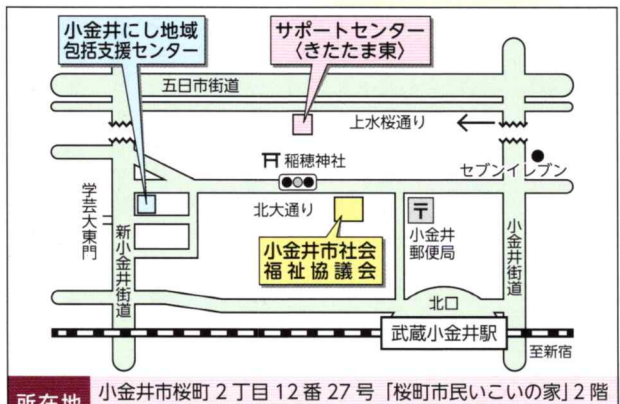
かねてから懸案でありました更生保護サポートセンターについて、当保護司会では以前から設置場所や施設、財源、保護司への負担などの様々な課題、また、各事務局との良好な関係などの理由から設置に関して不要の立場をとってきました。しかし、全国や東京都内の他地区の設置状況、保護観察所の強い要請により、当保護司会は設置検討委員会を立ち上げ、小山会長を中心に検討を重ね



られてきました。

第1回設置検討委員会では、当面「準備室」の位置づけとして開設し段階的に本格設置することが決定されました。将来的には各分区分区(サテライト・ブランチ等の拠点)の設置を検討すること、各分区分区ごとに企画調整保護司を選任し、研修を行っていくことなどが確認されました。

全7回に渡る委員会で、サポートセンターの機能や企画調整保護司の役割、設置についての申請手続き、運営規約の検討・決定、運営経費や備品の購入など細部に



所在地 小金井市桜町2丁目12番27号「桜町市いこいの家」2階  
FAX:042-316-6830 E-mail:kitahigashi@leaf.ocn.ne.jp

いて議論され、元年度内に開設することができました。

開所してからは、具体的には各分区分の企画調整保護司の役割等について共通認識のための研修を企画し、また、運営については、当面の間、7月から各分区分が週単位で担当し、原則火曜・金曜日の午前10時からとしています。

今後は、保護司の皆さんの更生保護活動の拠点、情報提供の場として活用できるよう徐々に整備してまいりますので、積極的な利用をお願いいたします。

(設置検討委員 和地 誠二)

(2)

コラム「窓」

私と茶道



私の趣味は、茶道である。学生時代から半世紀近く続けている。途中子育て等でお休みしたが、海外でもその土地の焼き物等を使い楽しんできた。

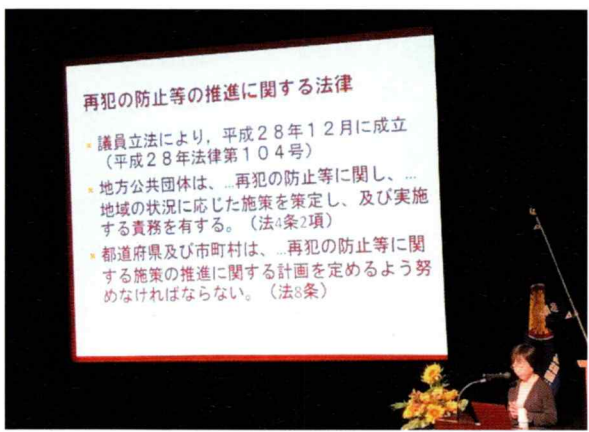
炭をついで釜の湯を沸かし、懐石で空腹を凌ぎ、濃茶が点てられるのである。茶事の間は、日常を離れ、季節や時の移ろいを五感を通して感じ、客と亭主が各々の役割を尊重しながら一時心を通わせる。

武蔵野分区 望月 加奈子

多摩連保護司研修会

「再犯防止推進法と東京都再犯防止推進計画」をテーマに令和2年1月29日にパルテノン多摩で、多摩地区の保護司、行政職員の約260名が参加し、研修が行われました。

前半は、再犯防止推進法について、柴田由佳東京観察所立川支部長より法の必要性・意義等の説明がありました。後半は、東京都民安全推進本部担当の小宮山みき課長が、東京都再犯防止推進計画について目的・概要・6つの具体的取組を説明されました。



今後は、東京都の計画を参考に各自自治体も計画を作成することになるため、保護司以上に行政の方の熱心な姿が、印象に残りました。(研修部長 須藤 利一)

地域別定例研修

令和元年度 第Ⅲ期地域別定例研修 研修テーマ 「発達障害について」



(3)

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

令和二年九月一日発行

三鷹市 市章は、一般公募の中からデザインが採用され、昭和42年に正式に制定されました。図柄の3本の円は江戸時代、三鷹地域が世田谷、野方、府中の3領に属していたことを意味し、中央の鷹の図は江戸時代、鷹場であったことを表したもので、三鷹の“三”と“鷹”を組み合わせ、円は人の和、平和を願った図柄です。

国分寺市 市の名前は、天平13(741)年、聖武天皇の国分寺建立の詔により全国に建立された「国分寺」に由来します。市のマークは、国分寺の頭文字である「コク」をカタカナ円形に図案化し、円満団結を表現して中央に「分」を配しています。

武蔵野市 市章は、武蔵野に町制が施行された昭和3(1928)年に制定されました。デザインは、当時、武蔵野町に在住していた水平譲画伯によるものであり、片仮名の「ムサシノ」の4字を組み合わせて図案化されています。円は武蔵野市の限らない発展と平和を象徴したのになっています。

小金井市 市章は、市制施行を記念して、一般公募により定められたもので、小金井市が桜で有名などころから、桜の花びらを配し、小金井市の「小」の文字を図案化して、本市を表象しています。玉川上水堤の桜並木は、200年以上も前から花見の名所として知られ、全国的に有名な花見の名所でした。小金井桜は国の名勝に指定されています。

退任保護司

永い間お疲れ様でした。今後とも益々お元気で活躍くださいますよう祈念申し上げます。

林 邦子氏 (三鷹分区) 令和2年5月24日(在職24年)

川畑 青史氏 (小金井分区) 令和2年5月24日(在職10年)

片畑 智子氏 (国分寺分区) 令和2年6月26日(在職4年)

新任保護司

左記の方が委嘱されました。今後のご活躍を期待いたします。

(三鷹分区) 日向 博氏 5月25日発令

(国分寺分区) 原島 秀夫氏 5月25日発令

(小金井分区) 内田 正明氏 9月1日発令

お知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため変更や中止になった事業がありました。

令和2年度北多摩東地区保護司会定期総会

(書面表決により全議案可決)

令和2年度第1期地域別定例研修

・社会を明るくする運動(各分区)

・分区トピックス掲載事業(各分区)

編集後記

昨今のコロナ禍の影響で、北多摩東地区の定期総会が中止となり、「社会を明るくする運動」をはじめとする各分区の活動も中止又は大幅な内容変更を余儀なくされています。このような状況から、今号は紙面を縮小し、4頁での発行となりました。一方で、長年の懸案だった「サポートセンター」が開設されて7月から運用が始められました。今後、更生保護活動の拠点として活用されることが期待されます。皆様のご協力により、今号も無事に発行することができたことを感謝いたします。

広報部員一同

北多摩東地区保護司会 和地誠一 電話〇四二(五七四)三二七七

